

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支 社 長 宮入 徹往

## 質問書に対する回答

(工事名) 道央自動車道 旭川管内舗装補修工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	土木工事積算基準記載(29-16)にて、日当たり施工能力は2,000m <sup>2</sup> /日”以下”に対し、特記仕様書では2,000m <sup>2</sup> /日”未満”と記載されております。 昼間夜間共に日当たり施工能力は”未満”という考えでよろしいでしょうか。	特記仕様書に記載のとおりお考え下さい。
2	令和6年度版の土木工事積算基準(29-15)には、切削オーバーレイ工(標準施工)は交通規制下概ね10時間と記載されておりましたが、特記仕様書には概ね9時間と記載されております。(令和7年度土木工事積算基準には時間の記載なし) 施工能力等を確認すると差が見当たりませんが、 <u>時間減少の要因となった変更点等はあるのでしょうか。</u>	積算基準に関する内容のためお答えできません。

3	<p>切削オーバーレイ工の日当たり標準施工能力(2,000m<sup>2</sup>/日)は特記仕様書(P17)に記載されておりますが、1日の施工数量が212.5m<sup>2</sup>(当工事日当たり最小面積)であっても標準施工能力で積算するという考えでよろしいでしょうか。もしくは施工数量に対し積算基準に記載されている各々の施工能力(路面切削機・プラント・アスファルトフィニッシャ)で比較して算出して計上するのでしょうか。</p> <p>また、夜間については特記仕様書にて標準施工能力900m<sup>2</sup>/日と記載されておりますが、その際の運転時間はどのようになっているのでしょうか。<u>積算基準記載(29-13)の4時間</u>と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>日当たりの施工数量によらず、標準施工能力(2,000 m<sup>2</sup>/日)を想定しています。</p> <p>また、夜間の運転時間につきましては特記仕様書 2.2-3-2(2)に示す最大施工時間に準じた貴社の施工計画によりお考え下さい。</p>
4	<p>高機能Ⅱ型舗装のきめ深さは、北海道支社管内で発注された舗装補修工事では管理目標値 ” 0.8～1.2mm ” であったと思いますが、当発注図書には記載がないため施工管理要領記載(Ⅲ-3)のとおり、管理目標値 ” 1.2mm 以上 ” としていると考えてよろしいでしょうか。0.8～1.2mm と 1.2mm 以上では施工機種が異なると考えております。</p> <p>ご教示願います。</p>	<p>高機能舗装Ⅱ型用混合物の表面きめ深さの規定値については、舗装施工管理要領によらず、0.8～1.2 mmの管理目標値としてください。</p>

5	<p>規制準備等の所要時間について土木工事積算基準（25-7）に記載がありますが、準備及び後片付けにおいて、“注 2）規制材の積込みを必要としない場合における準備の所要時間は 30 分とする” 及び “注 3）規制材の荷下ろしを必要としない場合、後片付け時間は計上しない” との記載がありますが、積算上何を基準に有無判定をすれば良いのでしょうか。日々の規制毎の交通監視員の人数を算出するにあたり、この時間により計上人数が異なります。ご教示願います。</p>	<p>積算基準に関する内容のため回答できません。</p>
6	<p>R7 年度版土木工事積算基準 2-26 【3. 交通保安要員の労務費の取扱い】において、“交通保安要員の労務費は、間接工事費算定の対象とはせずに、一般管理費等の算定にのみ全額を対象として取扱う” との記載が今年度から追加されますが、解釈としては 19-(2) 交通保安要員 内に含まれている全ての労務（19-(2) 交通誘導警備員 A・B 及び交通規制に計上される 交通監視員）が対象となるということによろしいのでしょうか。</p>	<p>その通りお考え下さい。</p>

以 上